

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合発達支援プラザ ふらっぷ2号館		
○保護者評価実施期間	2026年1月17日		～ 2026年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年1月17日		～ 2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動案の内容と実施	・活動案の様式を改訂し、5領域の視点でねらいを記入できるようにした。 ・一人ひとりの支援目標達成に向けて、経験を重ねたい内容を活動案に落とし込みながら実施している。小集団での実施の中でも個々に合わせた段階付けや取り組みのねらいを持ちながら実施している。	・5領域の中で、活動の中でとりくむねらいをさらに検討し、ブラッシュアップできるようにしていく。
2	・モニタリング・アセスメントの実施と支援計画の作成	・支援計画の見直しの時期に合わせて、定期的に事業所でお子さんの様子を振り返り、発達状況や課題についてをスタッフ間で話し合い共有している。 ・保護者とのアセスメントでは、事業所での様子をお伝えしたりご家庭や園での様子などを丁寧に聞き取りを行なっている。 ・モニタリング・アセスメントを通して見えた目標に対して、多職種の視点で検討しながら支援計画を作成している。	・支援計画作成に向けた一連の流れについて、振り返りの項目やアセスメントシートの作成など様式の改善を検討し、効率化を図りながら、内容の精度を高めていく。
3	・保護者からの相談に対して、多職種の視点で対応する事が出来る	・個別相談の申し込みに対して、相談内容によって適したスタッフが対応するようにしている。	・スタッフそれぞれの専門性に加え、就学に向けての流れや家族支援等必要な分野での知識を増やして行くなどのスキルアップを図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者交流会やきょうだい支援への取り組み	・保護者交流会や勉強会等の機会を複数回提供することができた。しかし、その際お子さんの預かりが難しい状況がある。	・勉強会や交流会の実施の仕方を検討し、希望される方が広く参加できるような形を目指す。
2			
3			